



PROFILE
 泉澤 碧 (いずみさわ みどり)
 ・みいやん農園代表
 ・新冠町農業委員
 ・新冠町4日クラブ
 ・北海道農業女子ネットワーク「はらべ娘」



PROFILE
 山口 覚 (やまぐち さとる)
 ・社会教育課生涯学習G体育青少年係
 ・新冠町民センター勤務
 ・北海道教育庁日高教育局
 教育支援課社会教育指導班 (新冠町派遣)

特集：対談
新冠町農業委員1年目 道教育委員会派遣1年目
「泉澤 碧」 × 「山口 覚」

今月の特集は、今年7月から新冠町で初めて女性農業委員に選任された泉澤碧さん、平成26年4月から新冠町教育委員会に派遣され、町民センターに勤務する山口覚さんと広報係の吉田主査の3名が、新冠の町のことについて対談するという新しい取り組みに挑戦しました。町内外で女性農業者として活躍する泉澤さんの思い、新冠町に来て1年の山口さんが感じていることなど、どんな話しが飛び出すのか・・・それでは、2時間のフリートークのスタートです。

まずは、2人のことを教えてください

吉田 お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。泉澤さんは、昨日まで東京にいたそうですね。

泉澤 はい、4日クラブ（農業青年クラブ）の青年農業者会議の全国大会が東京であり、北海道プロックの役員として運営の手伝いをしてきました。

山口 先日の北海道大会では、新冠町4日クラブも優秀賞を受賞しましたが、最優秀賞を獲得すると全国大会に参加できるので、来年は、そこを目指したいです。

泉澤 僕は様似町出身ですが、実家では、乳牛を育てていました。兄弟は男が4人いますが、誰も後継ぎにはならなかった。今は、酪農ヘルパーをしていた人が継いでいます。親を見てきたからというのがあります。酪農は大変ですね。

山口 酪農など生き物を扱うと年中無休

泉澤 酪農など生き物を扱うと年中無休

吉田 実際に社会教育の現場で一年働いて、率直な感想は？

山口 この一年間は激動でした。（笑）大変なこともたくさんありますが、本当に楽しく仕事をさせてもらっています。これまでと違う角度で学校や子どもと関わられるのも楽しいです。

泉澤 社会教育にいたら、泉澤さんのようなプロの農家の人たちと子どもたちをつなげて、体験事業などを企画することもできるので、それもこの仕事の面白さだと思います。

吉田 実際に社会教育の現場で一年働いて、率直な感想は？

山口 この一年間は激動でした。（笑）大変なこともたくさんありますが、本当に楽しく仕事をさせてもらっています。これまでと違う角度で学校や子どもと関わられるのも楽しいです。

泉澤 社会教育にいたら、泉澤さんのようなプロの農家の人たちと子どもたちをつなげて、体験事業などを企画することもできるので、それもこの仕事の面白さだと思います。

で休みがないですが、うちは、アスパラ、ピーマン、米が主なので、夏は忙しいけれど、12月から2月は、わりと時間が取れます。

吉田 山口先生は、4月に新冠に来られたんですが、それまでは、どのような仕事をされていたのですか？

山口 昨年の3月末までは、浦河町内の小学校で先生をしていました。14年間、小学校で学校教育に携わっていましたが、色々な世代の人と関わり、仕事ができる社会教育にも興味があったので、社会教育主事の資格を取り、昨年の4月から3年間新冠町に派遣されることとなりました。

泉澤 社会教育の現場で経験を積み、その後は、教員に戻り、この経験を今後の仕事に生かしたいと考えています。

吉田 実際に社会教育の現場で一年働いて、率直な感想は？

山口 この一年間は激動でした。（笑）大変なこともたくさんありますが、本当に楽しく仕事をさせてもらっています。これまでと違う角度で学校や子どもと関わられるのも楽しいです。

泉澤 社会教育にいたら、泉澤さんのようなプロの農家の人たちと子どもたちをつなげて、体験事業などを企画することもできるので、それもこの仕事の面白さだと思います。

吉田 実際に社会教育の現場で一年働いて、率直な感想は？

山口 この一年間は激動でした。（笑）大変なこともたくさんありますが、本当に楽しく仕事をさせてもらっています。これまでと違う角度で学校や子どもと関わられるのも楽しいです。

泉澤 社会教育にいたら、泉澤さんのようなプロの農家の人たちと子どもたちをつなげて、体験事業などを企画することもできるので、それもこの仕事の面白さだと思います。

吉田 実際に社会教育の現場で一年働いて、率直な感想は？

山口 この一年間は激動でした。（笑）大変なこともたくさんありますが、本当に楽しく仕事をさせてもらっています。これまでと違う角度で学校や子どもと関わられるのも楽しいです。

泉澤 社会教育にいたら、泉澤さんのようなプロの農家の人たちと子どもたちをつなげて、体験事業などを企画することもできるので、それもこの仕事の面白さだと思います。

吉田 実際に社会教育の現場で一年働いて、率直な感想は？

山口 この一年間は激動でした。（笑）大変なこともたくさんありますが、本当に楽しく仕事をさせてもらっています。これまでと違う角度で学校や子どもと関わられるのも楽しいです。

泉澤 社会教育にいたら、泉澤さんのようなプロの農家の人たちと子どもたちをつなげて、体験事業などを企画することもできるので、それもこの仕事の面白さだと思います。

吉田 実際に社会教育の現場で一年働いて、率直な感想は？

山口 この一年間は激動でした。（笑）大変なこともたくさんありますが、本当に楽しく仕事をさせてもらっています。これまでと違う角度で学校や子どもと関わられるのも楽しいです。

泉澤 社会教育にいたら、泉澤さんのようなプロの農家の人たちと子どもたちをつなげて、体験事業などを企画することもできるので、それもこの仕事の面白さだと思います。

新冠の魅力ってどんなところ？

吉田 新冠に住んで、働いて、新冠の魅力ってどんなところですか？

山口 この町には、子どもたちが「体験」できる場所がたくさんあると思います。例えば、カヌーやツリークライミング、農業や漁業体験など、色々なことにたくさん大人の協力をしてくれることがすごいと思います。あと、判官館や青年の家なんかもあり、環境が整っていると思います。

吉田 泉澤さんは、新冠の中で、ここが面白いというものはありますか？

泉澤 地元の新鮮な野菜を購入できる軽トラ市は評判がいいと思います。

山口 私も販売側で携わっていますが、軽トラ市の時にお客さんから「以前は、早い時間のバスに乗っていたんだけど、軽トラ市で買った新鮮な野菜をお土産にするために、バスを一番遅くしているんだよ。」という話をきいて、すごく嬉しかったです。

吉田 でも、この軽トラ市も日高管内では、少しく知られてきましたが、それ以外ではまだまだ知らない人が多いので、地元の人も含め、もっとたくさんの人に利用してもらい、魅力を知ってもらえればと思います。

その後は、子どもの話しに

泉澤 軽トラ市は3年目ですが、以前は、年配の人やお父さんが買い物に来ることが多かったんですけど、最近は、親子連れが増え、子どもが自分で好きな野菜を選んだりすることも増えてきました。

山口 残すべきものは残し、変えるべきものは変える。教員の世界でもよく「不易と流行」という言葉を使いますが、流行に乗ることも大事ですが、変えてはいけないものを、変えずにいくことはもっと大事。なんにでも共通しているかもしれないね。

最近、学校ではタブレットが導入されていますけど、それに加えて、自然の中で遊んだり、色々なことを体験や経験をすることがやはり重要だと思います。

泉澤 私は農業のプロとして、どうしたら子どもたちの興味を引き付けるような農業体験ができるか、また、色々と考えてみたいと思います。

吉田 今後、連携して何か新しい取り組みをされるときは、ぜひ、取材させていただきます。今日は、ありがとうございました。

対談を終えて：お二人には、たくさんのお話をいただきました。スベイスの関係上、全文を掲載することはできませんでしたが、対談の様子が伝わればと思います。

てきました。

山口 それは、すごくいいことですね。野菜を絵本でしか見たことがない子どももたくさんいるので、調理されていない実物の野菜を見ることができるのは貴重だし、しかも新鮮で美味しいものが食べられるというのは、大事な体験ですね。

泉澤 そうなんです。子どもはナスのヘタにとげがあることを知らなかったりするので、そのままつかもうとすると、ナスにとげがあるということを知る体験は、貴重だと思います。

山口 そうですね、体験することは大事なことです。最近では親が何でもやってしまう傾向があり、例えば、小学校のスケートの授業の時、親が学校に来て子どものスケート靴の紐を結ぶんですね。先生としては、助かるところもあるけど、果たしてそ

泉澤 そうなんです。子どもはナスのヘタにとげがあることを知らなかったりするので、そのままつかもうとすると、ナスにとげがあるということを知る体験は、貴重だと思います。

山口 そうですね、体験することは大事なことです。最近では親が何でもやってしまう傾向があり、例えば、小学校のスケートの授業の時、親が学校に来て子どものスケート靴の紐を結ぶんですね。先生としては、助かるところもあるけど、果たしてそ

泉澤 そうなんです。子どもはナスのヘタにとげがあることを知らなかったりするので、そのままつかもうとすると、ナスにとげがあるということを知る体験は、貴重だと思います。

山口 そうですね、体験することは大事なことです。最近では親が何でもやってしまう傾向があり、例えば、小学校のスケートの授業の時、親が学校に来て子どものスケート靴の紐を結ぶんですね。先生としては、助かるところもあるけど、果たしてそ

泉澤 そうなんです。子どもはナスのヘタにとげがあることを知らなかったりするので、そのままつかもうとすると、ナスにとげがあるということを知る体験は、貴重だと思います。

山口 そうですね、体験することは大事なことです。最近では親が何でもやってしまう傾向があり、例えば、小学校のスケートの授業の時、親が学校に来て子どものスケート靴の紐を結ぶんですね。先生としては、助かるところもあるけど、果たしてそ

泉澤 そうなんです。子どもはナスのヘタにとげがあることを知らなかったりするので、そのままつかもうとすると、ナスにとげがあるということを知る体験は、貴重だと思います。

山口 そうですね、体験することは大事なことです。最近では親が何でもやってしまう傾向があり、例えば、小学校のスケートの授業の時、親が学校に来て子どものスケート靴の紐を結ぶんですね。先生としては、助かるところもあるけど、果たしてそ

泉澤 そうなんです。子どもはナスのヘタにとげがあることを知らなかったりするので、そのままつかもうとすると、ナスにとげがあるということを知る体験は、貴重だと思います。

山口 そうですね、体験することは大事なことです。最近では親が何でもやってしまう傾向があり、例えば、小学校のスケートの授業の時、親が学校に来て子どものスケート靴の紐を結ぶんですね。先生としては、助かるところもあるけど、果たしてそ

泉澤 そうなんです。子どもはナスのヘタにとげがあることを知らなかったりするので、そのままつかもうとすると、ナスにとげがあるということを知る体験は、貴重だと思います。

山口 そうですね、体験することは大事なことです。最近では親が何でもやってしまう傾向があり、例えば、小学校のスケートの授業の時、親が学校に来て子どものスケート靴の紐を結ぶんですね。先生としては、助かるところもあるけど、果たしてそ

泉澤 そうなんです。子どもはナスのヘタにとげがあることを知らなかったりするので、そのままつかもうとすると、ナスにとげがあるということを知る体験は、貴重だと思います。

山口 そうですね、体験することは大事なことです。最近では親が何でもやってしまう傾向があり、例えば、小学校のスケートの授業の時、親が学校に来て子どものスケート靴の紐を結ぶんですね。先生としては、助かるところもあるけど、果たしてそ

泉澤 そうなんです。子どもはナスのヘタにとげがあることを知らなかったりするので、そのままつかもうとすると、ナスにとげがあるということを知る体験は、貴重だと思います。

山口 そうですね、体験することは大事なことです。最近では親が何でもやってしまう傾向があり、例えば、小学校のスケートの授業の時、親が学校に来て子どものスケート靴の紐を結ぶんですね。先生としては、助かるところもあるけど、果たしてそ

泉澤 そうなんです。子どもはナスのヘタにとげがあることを知らなかったりするので、そのままつかもうとすると、ナスにとげがあるということを知る体験は、貴重だと思います。

山口 そうですね、体験することは大事なことです。最近では親が何でもやってしまう傾向があり、例えば、小学校のスケートの授業の時、親が学校に来て子どものスケート靴の紐を結ぶんですね。先生としては、助かるところもあるけど、果たしてそ

泉澤 そうなんです。子どもはナスのヘタにとげがあることを知らなかったりするので、そのままつかもうとすると、ナスにとげがあるということを知る体験は、貴重だと思います。